

## 2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/3年次/3年次 : /3rd Year/3rd Year
課程等/Program	/高年次配当科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts for 3or4 years students/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月2 : /Mon.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111201			
科目番号 /Course Number	10160262			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	映画で学ぶドイツ語と文化 : Learning German and Cultures through Films			
担当教員名 / Instructor(s)	/(杉山 東洋) : SUGIYAMA Toyo			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	本講義では、2020年以降に公開されたドイツ・オーストリアの最新映画を主な教材とします(『水を抱く女』、『ある一生』)。『水を抱く女』でヨーロッパ随一の大都市ベルリンの街が映し出される一方、『ある一生』ではアルプス渓谷の文明化がまだ進んでいない生活が描かれています。この「都市と田舎」という対立を軸にすると、近代以降の西欧社会に生じた変化が様々な浮かび上がってきます。そうした作品の細部に対する理解を深めつつ、劇中のセリフの分析を通して、ドイツ語とドイツ文化に親しむことが講義の主目的となります。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	最新のドイツ語圏映画を観て、そこで使用されるドイツ語を学びながら、近代西欧の様々な文化を感じ取りつつ、理解することを目標とします。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	ガイダンス
	英		
2	日	第2回	ドイツ映画史の概観①～ドイツ表現主義～
	英		
3	日	第3回	ドイツ映画史の概観②～ニュー・ジャーマン・シネマ～
	英		
4	日	第4回	ドイツ映画史の概観③～現代の諸潮流～
	英		
5	日	第5回	フケーの『ウンディーネ』 『水を抱く女』 1/5
	英		
6	日	第6回	ベルリン小史 『水を抱く女』 2/5
	英		
7	日	第7回	水の女というトポス 『水を抱く女』 3/5
	英		
8	日	第8回	映画都市ベルリン 『水を抱く女』 4/5
	英		
9	日	第9回	歴史を語る都市 『水を抱く女』 5/5
	英		
10	日	第10回	アルプスの地理状況 『ある一生』 1/5
	英		
11	日	第11回	アルプスと亜麻布 『ある一生』 2/5
	英		
12	日	第12回	文学におけるアルプス① 『ある一生』 3/5
	英		
13	日	第13回	文学におけるアルプス② 『ある一生』 4/5
	英		
14	日	第14回	岐路に立つアルプス 『ある一生』 5/5
	英		
15	日	第15回	講義を踏まえてのディスカッションと小テスト
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	*初級修了程度のドイツ語の知識があることが望ましいです。
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	*映画を集中して観ることに慣れていない場合は、授業外での自由な映画鑑賞を推奨します。  本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	映像資料及びドイツ語テキストについては原則としてこちらで用意します。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	平常点（授業後の感想コメントシート）と、期末レポートで評価します。
英	

英	

留意事項等 Point to consider	
日	
英	